

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 7年 1月 29日

協議会名: 茨城県地域交通政策推進協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
茨城交通株式会社	大宮営業所～中瓜連～水戸駅 線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・水戸市・那珂市・常陸大宮市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02) 2,968部 ・バスロサービスの周知活動 ・その他:常陸大宮市高齢者免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 【目標】 ○1日当り輸送量 23.0人 ○収支率 41.63% ○収入増 480千円/年 ○輸送人員 1,705人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 26.6人(+3.6人) ○収支率 39.50% (△5.12%) ○収入 21,423千円(+21.11%) ○輸送人員 69,910人(+12.92%) 収支率以外は目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	浜田営業所～石塚車庫～御前山車庫線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城大学生が企画した観光周遊に関する企画乗車券を城里町道の駅と連携し、継続発売(HP掲載) ・城里町との連携で沿線中学生へのチラシの配布 ・城里町全戸、常陸大宮市沿線地区へチラシの配布・城里町との連携で城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売を実施(月1回) ・水戸市・城里町・常陸大宮市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,625部 ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R5.11) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 40.1人 ○収支率 61.86% ○収入増 780千円/年 ○輸送人員 2,560人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 44.6人(+4.5人) ○収支率 63.45%(+2.57%) ○収入 52,371千円(+17.70%) ○輸送人員 155,510人(+7.19%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	太田営業所～小中車庫～里川入口線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイ時刻表・バスマップの継続配布 ・路線バスツアーの実施(R5.11里美地区 2回) ・常陸太田市と連携し、各小学校での乗り方教室(R5.11月～R6.2月実施) ・常陸太田市・日立市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)1,548部 ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(約860名)(R6.04) ・市内高校での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・その他:常陸太田市75歳以上高齢者の運賃半額助成制度の継続実施 ・その他:常陸太田市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・その他:常陸太田市高校生に対する通学定期券助成制度 ・一部ダイヤ減便(R6.04) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 10.5人 ○収支率 19.25% ○収入増 450千円/年 ○輸送人員 2,091人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 9.6人(△0.9人) ○収支率 11.85%(△38.44%) ○収入 5,527千円(△11.01%) ○輸送人員 26,187人(△8.90%) <p>すべての項目で目標には届かなかった。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～桜ノ牧高校前～水戸医療センター線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市・茨城町と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,467部 ・高校・大学での定期券出張販売を実施(R6.04) ・沿線施設への時刻表設置依頼(水戸医療センターに隣接する薬局等) ・バスロケサービスの周知活動 ・日祝ダイヤのみ一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 48.7人 ○収支率 60.64% ○収入増 420千円/年 ○輸送人員 1,682人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 58.8人(+10.1人) ○収支率 70.12%(+15.63%) ○収入 31,789千円(+36.48%) ○輸送人員 113,674人(+21.99%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	茨大前営業所～アクアワールド大洗～那珂湊駅線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城大学生が企画した観光周遊に関する企画乗車券を、継続発売(HP掲載) ・水戸市・ひたちなか市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)3,543部 ・高校・大学での定期券出張販売を実施(R6.04) ・大洗町のイベントにてチラシの配布(R5.11、R6.3) ・水戸市と連携し稲荷第一小学校にてバスの乗り方教室を開催(R5.10) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R5.10、R6.04) ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 66.6人 ○収支率 69.89% ○収入増 830千円/年 ○輸送人員 3,050人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 79.8人(+13.2人) ○収支率 80.98%(+15.87%) ○収入 67,872千円(+24.98%) ○輸送人員 219,077人(+10.90%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	茨大前営業所～東大野～平磯 中学校下線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・水戸市・ひたちなか市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)3,543部 ・高校・大学での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R5.10・R6.04) ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ○1日当り輸送量 48.6人 ○収支率 56.42% ○収入増 750千円/年 ○輸送人員 3,228人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 53.0人(+4.4人) ○収支率 64.15%(+13.70%) ○収入 43,926千円(+14.58%) ○輸送人員 166,242人(+0.95%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。
茨城交通株式会社	水戸駅～旭台団地入口～友部 駅線の運行	乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。 ・沿線施設へ時刻表設置の依頼 ・水戸市・笠間市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,777部 ・沿線施設の茨城歯科専門学校や鯉淵学園での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03)	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	【目標】 ○1日当り輸送量 20.9人 ○収支率 50.95% ○収入増 280千円/年 ○輸送人員 1,328人増/年 【結果】 ○1日当り輸送量 25.5人(+4.6人) ○収支率 59.24%(+16.27%) ○収入 18,556千円(+44.94%) ○輸送人員 75,989人(+25.39%) 輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。	県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。 自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。 アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	赤塚駅南口～桜の牧高校前～水戸医療センター線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市・茨城町と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,467部 ・沿線施設への時刻表設置依頼(水戸医療センターに隣接する薬局等) ・高校・大学での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 18.9人 ○収支率 35.93% ○収入増 140千円/年 ○輸送人員 593人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 18.0人(△0.9人) ○収支率 36.48%(+1.53%) ○収入 5,252千円(+20.12%) ○輸送人員 18,141人(+0.57%) <p>輸送量以外は目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	水戸駅～赤塚駅～イオンモール水戸内原線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,187部 ・イオンモール水戸内原店舗内へ時刻表の掲出依頼 ・水戸市と連携し堀原小にてバスの乗り方教室を開催(R6.06) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 52.0人 ○収支率 68.28% ○収入増 440千円/年 ○輸送人員 2,007人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 66.9人(+14.9人) ○収支率 75.73%(+10.91%) ○収入 38,401千円(+35.38%) ○輸送人員 157,788人(+24.35%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～石塚車庫～野口車庫線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城大学生が企画した観光周遊に関する企画乗車券を城里町道の駅と連携し、継続発売(HP掲載) ・水戸市・城里町・常陸大宮市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,625部 ・高校・大学での定期券出張販売を実施(R6.04) ・城里町との連携で城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売を実施(月1回) ・城里町町民まつりでバスの乗り方教室を開催、時刻表の配布(R5.11) <p>その他:常陸大宮市高齢者免許返納事業継続中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 38.2人 ○収支率 77.73% ○収入増 470千円/年 ○輸送人員 1,345人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 44.1人(+5.9人) ○収支率 81.99%(+5.48%) ○収入 42,195千円(+21.37%) ○輸送人員 106,898人(+9.35%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	水戸駅～国田局前～下江戸線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市・那珂市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,671部 ・高校・大学での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 15.5人 ○収支率 50.06% ○収入増 160千円/年 ○輸送人員 692人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 16.5人(+1.0人) ○収支率 45.55%(△9.01%) ○収入 8,358千円(+12.04%) ○輸送人員 31,474人(+1.60%) <p>収支率以外は目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	茨大前営業所～勝田駅前～勝田営業所線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひたちなか市内の各種イベント(産業交流フェア、TAMARIBA横丁など)に参加しチラシを配布 ・水戸市・ひたちなか市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)3,543部 ・商業施設でらくがきバスを実施しチラシを配布 ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R6.03) ・市内高校にて定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ減便(R5.10・R6.04) ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 31.1人 ○収支率 67.03% ○収入増 300千円/年 ○輸送人員 1,482人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 31.9人(+0.8人) ○収支率 77.82%(+16.10%) ○収入 19,854千円(+6.32%) ○輸送人員 85,542人(△6.76%) <p>輸送人員以外は目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	水戸駅～市毛十字～笠松運動公園前線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水戸市・ひたちなか市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)3,543部 ・企業向け通勤定期券の案内書を送付を実施(R06.02) ・ひたちなか市と連携し、市報へ定期券販売促進記事掲載(R05.03) ・県立高校にて定期券出張販売を実施(R06.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 24.6人 ○収支率 72.09% ○収入増 120千円/年 ○輸送人員 412人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 39.0人(+14.4人) ○収支率 99.65%(+38.23%) ○収入 13,788千円(+64.99%) ○輸送人員 36,866人(+34.11%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	鯉淵営業所～河和田小学校～水戸駅線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線施設へ時刻表設置の依頼 ・水戸市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,187部 ・沿線施設の茨城歯科専門学校や鯉淵学園での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 30.0人 ○収支率 67.42% ○収入増 220千円/年 ○輸送人員 1,085人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 40.9人(+10.9人) ○収支率 87.62%(+29.96%) ○収入 22,250千円(+57.75%) ○輸送人員 92,528人(+37.12%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	鯉淵営業所～若林～水戸駅線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線施設へ時刻表設置の依頼 ・水戸市と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,187部 ・沿線施設の茨城歯科専門学校や鯉淵学園での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 15.9人 ○収支率 73.29% ○収入増 110千円/年 ○輸送人員 484人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 18.7人(+2.8人) ○収支率 81.32%(+10.96%) ○収入 10,010千円(+33.18%) ○輸送人員 38,710人(+17.74%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	水戸駅～飯富～石塚車庫線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城里町との連携で沿線中学生への時刻表チラシの配布 ・水戸市・城里町と連携し、中学三年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)2,328部 ・城里町との連携で町内全戸へ時刻表チラシの配布(R6.03) ・城里町との連携で城里コミュニティセンターにてICカードの出張販売を実施(月1回) ・高校、大学で定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・一部ダイヤ増便(R6.04) ・運賃改定(R6.04) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 36.4人 ○収支率 80.57% ○収入増 320千円/年 ○輸送人員 1,191人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 48.6人(+12.2人) ○収支率 87.60%(+8.73%) ○収入 34,733千円(+42.70%) ○輸送人員 112,475人(+25.86%) <p>輸送量、収支率、収入、輸送人員とも目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	太田営業所～竜神大吊橋～馬次入口線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイ時刻表・バスマップの継続配布 ・路線バスツアーの実施(R5.11水府地区 1回) ・常陸太田市と連携し、各小学校での乗り方教室(R5.11月～R6.2月実施) ・常陸太田市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)278部 ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(約860名)(R6.04) ・市内高校での定期券出張販売を実施(R6.04) ・バスロケサービスの周知活動 ・その他:常陸太田市75歳以上高齢者の運賃半額助成制度の継続実施 ・その他:常陸太田市運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・その他:常陸太田市高校生に対する通学定期券助成制度 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 4.3人 ○収支率 15.88% ○収入増 200千円/年 ○輸送人員 823人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 4.9人(+0.6人) ○収支率 10.75%(△32.30%) ○収入 2,402千円(+11.46%) ○輸送人員 9,239人(+8.40%) <p>収支率以外は目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	馬場八幡前～大橋～大甕駅西口線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・常陸太田市高齢者助成制度として高齢者の運賃半額制度の継続実施 ・常陸太田市と連携し、各小学校での乗り方教室(R5.11月～R6.2月実施) ・マイ時刻表・バスマップの継続配布(常陸太田市) ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(約860名)(R6.04) ・市内高校での定期券出張販売を実施(R6.04) ・運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周知活動 ・常陸太田市・日立市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)1,548部 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03) ・その他:常陸太田市高校生に対する通学定期券助成制度 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 38.0人 ○収支率 40.69% ○収入増 590千円/年 ○輸送人員 1,918人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 26.6人(△11.4人) ○収支率 33.04%(△7.65%) ○収入 15,898千円(△23.70%) ○輸送人員 55,056人(△18.50%) <p>すべての項目で目標には届かなかった。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	馬場八幡前～はたそめ入口～真弓ヶ丘～大甕駅西口線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・常陸太田市高齢者助成制度として高齢者の運賃半額制度の継続実施 ・常陸太田市と連携し、各小学校での乗り方教室(R5.11月～R6.2月実施) ・マイ時刻表・バスマップの継続配布(常陸太田市) ・常陸太田市との連携で、中学生向け年間フリー乗車券の配布(約860名)(R6.04) ・市内高校での定期券出張販売を実施(R6.04) ・運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周知活動 ・常陸太田市・日立市と連携し、中学3年生へ定期券案内チラシの配布(R6.02)1,548部 ・一部ダイヤ減便(R6.04) ・運賃改定(R6.03) ・その他:常陸太田市高校生に対する通学定期券助成制度 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 47.4人 ○収支率 42.06% ○収入増 740千円/年 ○輸送人員 2,699人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 45.3人(△2.1人) ○収支率 38.92%(△7.47%) ○収入 26,515千円(△2.87%) ○輸送人員 100,380人(△1.66%) <p>すべての項目で目標には届かなかった。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城交通株式会社	日立駅中央口～砂沢～十王駅前線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周知活動 ・定期券購入者増に向けた取り組みとして新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 18.7人 ○収支率 62.58% ○収入増 170千円/年 ○輸送人員 819人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 18.7人(+0.0人) ○収支率 55.92%(△10.64%) ○収入 10,816千円(+9.49%) ○輸送人員 50,008人(+6.53%) <p>収支率以外は目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
茨城交通株式会社	日立駅中央口～国道6号～十王駅前線の運行	<p>乗降調査をもとに需要動向を把握するとともに、引き続き利用促進策を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日立市のお出かけ支援事業に協力し、お得な路線バスカードを販売 ・運転免許証自主返納者支援事業として運転免許証自主返納者に対するバス運賃助成制度の継続実施 ・日立市内の路線バス通学定期券助成制度活用 ・バスロケーションシステム周知活動 ・定期券購入者増に向けた取り組みとして新年度(4月)に向け中学3年生へ定期券購入案内文書を配布 ・R6.04より経路変更、JR小木津駅を経由し、利便性を向上させた ・運賃改定(R6.03) 	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 17.9人 ○収支率 55.31% ○収入増 200千円/年 ○輸送人員 891人増/年 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1日当り輸送量 20.8人(+2.9人) ○収支率 50.22%(△9.20%) ○収入 12,352千円(+22.61%) ○輸送人員 54,385人(+22.72%) <p>収支率以外は目標を達成した。</p>	<p>県・沿線市・関係機関との連携をこれまで以上に密にし、バス利用案内の呼びかけ、啓発活動を行う。</p> <p>自社においても広報宣伝活動を強化し、利用客の掘り起しを図る。</p> <p>アフターコロナによる利用動向を注視し、効率的な運行ダイヤの見直しを検討する。</p>
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。</p> <p>・関係機関と連携しバス利用案内・啓発活動や普通運賃の割引施策等の利用促進策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。</p> <p>・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。</p>				

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)															
関東鉄道株 水戸駅～石岡駅	水戸駅～奥ノ谷～石岡駅の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>559人増</td> <td>15,300人増</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>22.8人</td> <td>20.8人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>248千円増</td> <td>1,094千円減</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>79.2%</td> <td>68.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>運送収入減少の要因は、通学需要と遠距離利用の減少が考えられる。</p>		(目標)	(実績)	輸送人員	559人増	15,300人増	輸送量	22.8人	20.8人	運送収入	248千円増	1,094千円減	経常収支率	79.2%	68.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	559人増	15,300人増																		
輸送量	22.8人	20.8人																		
運送収入	248千円増	1,094千円減																		
経常収支率	79.2%	68.7%																		
関東鉄道株 筑波山口～土浦駅	筑波山口～土浦一高前～土浦駅西口の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・宝篋山ハイキングモデルコースを設定、ホームページでPRし、観光需要の掘り起こしを行った。 ・車内に自転車を持ち込めるつくば霞ヶ浦りんりんバスを運行し、サイクリング需要の掘り起こしを行った。 ・沿線高校の新入生に対し、IC金額式定期券の利便性をPRする説明会を開催した。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>1,641人増</td> <td>38,541人減</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>39.4人</td> <td>45.9人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>350千円増</td> <td>6,865千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>52.6%</td> <td>61.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>輸送人員減少の要因は通勤・通学定期利用者の減少が考えられる。</p>		(目標)	(実績)	輸送人員	1,641人増	38,541人減	輸送量	39.4人	45.9人	運送収入	350千円増	6,865千円増	経常収支率	52.6%	61.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	1,641人増	38,541人減																		
輸送量	39.4人	45.9人																		
運送収入	350千円増	6,865千円増																		
経常収支率	52.6%	61.6%																		
関東鉄道株 みどりの駅～土浦駅	みどりの駅～農林団地中央・学園並木～土浦駅西口の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・沿線高校の新入生に対し、IC金額式定期券の利便性をPRする説明会を開催した。 ・水海道駅～土浦駅線との路線統合を実施した。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>380人増</td> <td>42,003人増</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>14.6人</td> <td>27.0人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>113千円増</td> <td>8,503千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>38.4%</td> <td>46.7%</td> </tr> </tbody> </table>		(目標)	(実績)	輸送人員	380人増	42,003人増	輸送量	14.6人	27.0人	運送収入	113千円増	8,503千円増	経常収支率	38.4%	46.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	380人増	42,003人増																		
輸送量	14.6人	27.0人																		
運送収入	113千円増	8,503千円増																		
経常収支率	38.4%	46.7%																		
関東鉄道株 岩井バスターミナル～守谷駅	岩井バスターミナル～きぬの里～守谷駅西口間の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・沿線の茨城県自然博物館と連携した企画乗車券を発売し利用促進を図った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>607人増</td> <td>4,544人減</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>24.1人</td> <td>28.5人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>180千円増</td> <td>4,507千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>69.4%</td> <td>72.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>輸送人員減少の要因は、R5.12.20に土日祝日ダイヤの減便を行ったため。</p>		(目標)	(実績)	輸送人員	607人増	4,544人減	輸送量	24.1人	28.5人	運送収入	180千円増	4,507千円増	経常収支率	69.4%	72.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	607人増	4,544人減																		
輸送量	24.1人	28.5人																		
運送収入	180千円増	4,507千円増																		
経常収支率	69.4%	72.6%																		

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)															
関東鉄道(株) 藤代駅～自由ヶ丘団地	藤代駅～自由ヶ丘団地の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・運送需要に見合ったダイヤの見直しを行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>253人増</td> <td>7,373人減</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>14.6人</td> <td>10.7人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>57千円増</td> <td>1,062千円減</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>63.2%</td> <td>60.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>運送収入の減少は、一人平均乗車キロや定期外利用の減少に伴う単価減によるものと考えられる。</p>		(目標)	(実績)	輸送人員	253人増	7,373人減	輸送量	14.6人	10.7人	運送収入	57千円増	1,062千円減	経常収支率	63.2%	60.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	253人増	7,373人減																		
輸送量	14.6人	10.7人																		
運送収入	57千円増	1,062千円減																		
経常収支率	63.2%	60.5%																		
関東鉄道(株) 牛久駅～みどりの駅	牛久駅～桜ヶ丘団地～みどりの駅の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・運送需要に見合ったダイヤの見直しを行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>1,473人増</td> <td>1,742人減</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>56.2人</td> <td>66.2人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>353千円増</td> <td>8,325千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>67.0%</td> <td>71.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>輸送人員減少の要因は、R5.12.20に土日祝日ダイヤの減便を行ったため。</p>		(目標)	(実績)	輸送人員	1,473人増	1,742人減	輸送量	56.2人	66.2人	運送収入	353千円増	8,325千円増	経常収支率	67.0%	71.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	1,473人増	1,742人減																		
輸送量	56.2人	66.2人																		
運送収入	353千円増	8,325千円増																		
経常収支率	67.0%	71.7%																		
関東鉄道(株) 取手駅～谷田部車庫	取手駅西口～高岡～谷田部車庫の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・土日祝日ダイヤについて、利用実態に合わせた便数を設定し、路線収支の改善を図った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>634人増</td> <td>11,194人減</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>19.6人</td> <td>20.7人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>185千円増</td> <td>1,444千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>32.6%</td> <td>44.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>輸送人員減少の要因は、R5.12.20に土日祝日ダイヤの減便を行ったため。</p>		(目標)	(実績)	輸送人員	634人増	11,194人減	輸送量	19.6人	20.7人	運送収入	185千円増	1,444千円増	経常収支率	32.6%	44.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	634人増	11,194人減																		
輸送量	19.6人	20.7人																		
運送収入	185千円増	1,444千円増																		
経常収支率	32.6%	44.2%																		
関東鉄道(株) 荒川沖駅～県立医療大学	荒川沖駅東口～東京医大茨城医療センター～県立医療大学の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・土日祝日ダイヤについて、利用実態に合わせた便数を設定し、路線収支の改善を図った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>635人増</td> <td>15,486人減</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>29.3人</td> <td>31.8人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>123千円増</td> <td>1,890千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>63.8%</td> <td>81.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>輸送人員減少の要因は、R5.12.20に土日祝日ダイヤの減便を行ったため。</p>		(目標)	(実績)	輸送人員	635人増	15,486人減	輸送量	29.3人	31.8人	運送収入	123千円増	1,890千円増	経常収支率	63.8%	81.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	635人増	15,486人減																		
輸送量	29.3人	31.8人																		
運送収入	123千円増	1,890千円増																		
経常収支率	63.8%	81.4%																		

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)															
関東鉄道株 竜ヶ崎駅～取手駅	竜ヶ崎駅～光風台団地入口～取手駅の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定を実施した。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>674人増</td> <td>13,161人増</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>20.4人</td> <td>16.7人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>131千円増</td> <td>1,280千円減</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>45.8%</td> <td>41.9%</td> </tr> </tbody> </table> 運送収入減少の要因は、遠距離利用者の減少が考えられる。		(目標)	(実績)	輸送人員	674人増	13,161人増	輸送量	20.4人	16.7人	運送収入	131千円増	1,280千円減	経常収支率	45.8%	41.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	674人増	13,161人増																		
輸送量	20.4人	16.7人																		
運送収入	131千円増	1,280千円減																		
経常収支率	45.8%	41.9%																		
関東鉄道株 鹿島神宮駅～銚子駅	鹿島神宮駅～神栖済生会病院～銚子駅の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定一日乗車券を発売し、利用の少ない土日祝日の利用促進を行った。 ・IC金額式定期券を発売し利用促進を行った。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>726人増</td> <td>8,331人増</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>33.8人</td> <td>32.0人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>489千円増</td> <td>1,498千円減</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>66.8%</td> <td>51.3%</td> </tr> </tbody> </table>		(目標)	(実績)	輸送人員	726人増	8,331人増	輸送量	33.8人	32.0人	運送収入	489千円増	1,498千円減	経常収支率	66.8%	51.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	726人増	8,331人増																		
輸送量	33.8人	32.0人																		
運送収入	489千円増	1,498千円減																		
経常収支率	66.8%	51.3%																		
関東鉄道株 つくばセンター～水戸駅	つくばセンター～石岡～水戸駅南口の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・ICカード利用者に対する割引運賃の実施を行った。 ・沿線施設でのイベント開催時における利用促進広告を掲示した。 ・水戸京成百貨店と貨客混載の業務提携を行い、収益力の強化を図った。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>651人増</td> <td>15,116人増</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>63.5人</td> <td>74.5人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>555千円増</td> <td>9,708千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>68.2%</td> <td>76.3%</td> </tr> </tbody> </table>		(目標)	(実績)	輸送人員	651人増	15,116人増	輸送量	63.5人	74.5人	運送収入	555千円増	9,708千円増	経常収支率	68.2%	76.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	651人増	15,116人増																		
輸送量	63.5人	74.5人																		
運送収入	555千円増	9,708千円増																		
経常収支率	68.2%	76.3%																		
関東鉄道株 柿岡車庫～石岡駅	柿岡車庫～林～石岡駅の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定IC一日乗車券の発売を行った。 ・沿線施設での特典付き企画乗車券を発売を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定の実施を行った。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>804人増</td> <td>11,686人減</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>33.8人</td> <td>29.8人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>193千円増</td> <td>1,012千円減</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>69.3%</td> <td>61.4%</td> </tr> </tbody> </table> 減便と運賃改定による利用者の減少及び関東鉄道に合併したことによる費用単価増が考えられる。		(目標)	(実績)	輸送人員	804人増	11,686人減	輸送量	33.8人	29.8人	運送収入	193千円増	1,012千円減	経常収支率	69.3%	61.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	804人増	11,686人減																		
輸送量	33.8人	29.8人																		
運送収入	193千円増	1,012千円減																		
経常収支率	69.3%	61.4%																		
関東鉄道株 柿岡車庫～土浦駅	柿岡車庫～上志筑～土浦駅西口の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定IC一日乗車券の発売を行った。 ・沿線施設での特典付き企画乗車券を発売を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定の実施を行った。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>682人増</td> <td>21,719人減</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>14.4人</td> <td>9.3人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>131千円増</td> <td>4,151千円減</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>67.8%</td> <td>39.7%</td> </tr> </tbody> </table> 減便と運賃改定による利用者の減少及び関東鉄道に合併したことによる費用単価増が考えられる。		(目標)	(実績)	輸送人員	682人増	21,719人減	輸送量	14.4人	9.3人	運送収入	131千円増	4,151千円減	経常収支率	67.8%	39.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	682人増	21,719人減																		
輸送量	14.4人	9.3人																		
運送収入	131千円増	4,151千円減																		
経常収支率	67.8%	39.7%																		

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)														
関東鉄道株 鉾田駅～水戸駅	鉾田駅～海老沢～水戸駅の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定IC一日乗車券の発売を行った。 ・沿線施設での特典付き企画乗車券を発売を行った。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定の実施を行った。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>579人増</td> <td>9,905人増</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>17.0人</td> <td>19.2人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>180千円増</td> <td>3,111千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>90.6%</td> <td>83.0%</td> </tr> </tbody> </table> 運賃改定による利用者の減少及び関東鉄道に合併したことによる費用単価増が考えられる。		(目標)	(実績)	輸送人員	579人増	9,905人増	輸送量	17.0人	19.2人	運送収入	180千円増	3,111千円増	経常収支率	90.6%	83.0%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	579人増	9,905人増																		
輸送量	17.0人	19.2人																		
運送収入	180千円増	3,111千円増																		
経常収支率	90.6%	83.0%																		
関東鉄道株 茨城空港～水戸駅	茨城空港～桜木三差路～水戸駅の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日限定IC一日乗車券の発売を行った。 ・茨城空港「空の日」イベントに参加し路線をPRを実施した。 ・中学3年生を対象としたお試し乗車券の配布を行った。 ・運賃改定の実施を行った。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>輸送人員</td> <td>615人増</td> <td>8,358人増</td> </tr> <tr> <td>輸送量</td> <td>16.7人</td> <td>21.5人</td> </tr> <tr> <td>運送収入</td> <td>155千円増</td> <td>5,930千円増</td> </tr> <tr> <td>経常収支率</td> <td>72.5%</td> <td>78.6%</td> </tr> </tbody> </table>		(目標)	(実績)	輸送人員	615人増	8,358人増	輸送量	16.7人	21.5人	運送収入	155千円増	5,930千円増	経常収支率	72.5%	78.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線自治体や施設との連携を密にし、効果的な利用促進策を実施する。 ・ICカード利用データ等を活用し利用実態を把握したうえで効率的な運行ダイヤを設定する。
	(目標)	(実績)																		
輸送人員	615人増	8,358人増																		
輸送量	16.7人	21.5人																		
運送収入	155千円増	5,930千円増																		
経常収支率	72.5%	78.6%																		
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・沿線住民の路線バス利用促進活動のほか、観光地域にあったサービス提供の取組について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。 																			

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
茨城急行自動車株 系統:古河駅東口～友愛記念病院	古河駅東口～古河第一高校前～友愛記念病院の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	B 【目標】収支率を1%改善させる。(R5年度収支率40.7%) 【効果達成状況】前年度より、収支率は0.9%増の41.6%で目標を達成できなかった。人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えてゆく。また、運賃改定による収入増を見込み目標の達成を図る。
茨城急行自動車株 系統:古河駅東口～八千代町役場	古河駅東口～牛ケ谷～八千代町役場の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】収支率を1%改善させる。(R5年度収支率62.2%) 【効果達成状況】前年度より、収支率は1.1%増の63.3%に改善。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えてゆく。また、運賃改定による収入増を見込み目標の達成を図る。
茨城急行自動車株 系統:古河駅東口～三和庁舎	古河駅東口～牛ケ谷～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R5年度収支率66.8%) 【効果達成状況】前年度より、収支率は0.8%減の66.0%で目標を達成できなかった。人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えてゆく。また、運賃改定による収入増を見込み目標の達成を図る。
茨城急行自動車株 系統:古河駅東口～三和庁舎	古河駅東口～丘里工業団地～三和庁舎の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R5年度収支率76.0%) 【効果達成状況】前年度より、収支率は11.3%減の64.7%で目標を達成できなかった。人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えてゆく。また、運賃改定による収入増を見込み目標の達成を図る。
茨城急行自動車株 系統:岩井線	野田市駅～下町～岩井車庫の運行	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施及び経費の削減で目標の達成を図る。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】収支率を1%改善させる。(R5年度収支率81.5%) 【効果達成状況】前年度より、収支率は0.5%減の81.0%で目標を達成できなかった。人件費及び燃料等の費用増加の影響を受ける。	将来的な通勤利用者を確保するため、時刻表の配布等による共通学生フリーパスの販売促進策を実施してゆき、併せて会社全体での経費の削減を考えて目標の達成を図る。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。</p> <p>・共通学生フリーパスの販売促進の実施、沿線企業等への時刻表の配布など利用促進策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。</p> <p>・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。</p>				

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
朝日自動車(株) 境車庫～古河駅西口	境車庫～釈迦～古河駅西口の運行	①令和5年9月～10月と令和6年3月～4月の共通学生フリーパス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②茨城西南医療センターへの路線延伸について関係自治体と検討したが未実施。	B 一部の事業が計画に位置づけられたとおり実施することができなかった。	B 輸送人員目標114,303人に対して実績は107,521人となり目標未達成となった。 未達成理由として、外国人の通勤客の減少が理由と考えられる。	・引き続き共通学生フリーパスの販売促進を図る。 ・運行本数、運行時間の見直しを行う。
朝日自動車(株) 五霞町役場前～幸手駅	〔起点〕 五霞町役場前 〔主な経由地〕 桜まつり会場(まつり開催時) 〔終点〕 幸手駅	①桜まつりが開催され、多くのお客様にご乗車いただいた。また、桜以外の季節の花を目当てにしたお客様にご乗車いただいた。 ②渋滞が発生し、定時運行に大きな影響が出た。 ③令和5年11月、五霞町のイベントに合わせて乗り方教室を実施した。 ④令和7年2月に橋梁架け替え工事に伴う迂回運行に合わせ、利用実態に合わせたダイヤ改正を実施予定。 ⑤令和7年2月より数年間にわたり、橋梁架け替え工事による迂回運行を実施予定。	A 事業が計画に位置付けられた通り、適切に実施された。	A 輸送人員目標49,768人に対して実績は57,820人となり目標を達成した。 達成理由として、新型コロナウイルス感染症により離れていた利用者が回復基調にあることと、権現堂の桜や紫陽花等の観覧を目的とした観光利用者も増加したことが理由と考えられる。	・桜まつり開催時は渋滞が発生するため、関係各所と連携しバスの定時性確保を図り利用増に繋げる。 ・バスの乗り方教室を実施し需要の掘り起しを図る。 ・橋梁架け替え工事に伴う迂回運行と、それに合わせ利用実態に合わせたダイヤ改正の実施。
地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・共通学生フリーパスの販売促進の実施、路線延伸の検討など利用促進策の実施について評価する。引き続き生産性向上の取組の実施を期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、他の交通機関の状況を踏まえさらなる連携を図り、地域全体で引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者にとって使いやすい地域公共交通が確保維持されることを期待する。				
第三者評価委員会における各委員からの意見	令和6年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しく今が転換期。 ○鉄道など他の交通モードと情報共有を図り、データに基づいた具体的な目標・成果・課題を明らかにし、関係機関と連携のうえ地域全体で検討することが重要。 ○データの基礎となる基本情報は、応用可能なデジタル化にシフトすることを期待する。				